一、争議団中央執行委員会 野田律太来京
市内松坂竹山内二階

七月一日

罷業は従来奔走するも挽回せずと思へるは情
り約八十名年少九輪北方上支度更に生ずるにしてる
二ノ多数名の損害を出す

本日会社にては在阪仲間人を集め大阪会なる
組合を組織し発会式を行ふ

一、新工手 一名 計 二百七十八名
比らは一ばかりの
解雇者 二名合計

一、出勤工手 五百八十二名

一、会社は罷業不成立の見込にて整理縮[illegible]

一、罷業団は予想外会社は工手復帰勤務を差止め
新工手採用方針に進むこととす

七月二日

一、復帰工手無し

一、出勤工手 五百九十八名

一、争議解決仲裁進退臨監の五名 手続来社
（弁護士）金子敏男 山本大一郎 松田繁吉
（法学士）辨護士 吉村重吉 大田茂

争議団は市一評議所を解散し
女工も収容す

七月三日

一、解雇 六百十三名 （假採用者）